



聞の半田滋さん
 期します。東京新
 演会は、2月に延
 田・九条の会の講
 催してきた野
 か。例年11月に開
 状とどう違うの
 どうなるのか、現
 を位置付けると
 憲法に自衛隊
 せん。

なればなりま
 のために、しつかり勉強しておか
 発議され「国民投票」となった時
 手をつけてくるでしょう。国会で
 を入れたので間違いなく、憲法に
 継続です。今回は公約に憲法改正
 いる暇はありません。安倍政権の
 さて選挙の結果にがっかりして

動きでした。
 進めようとした取り組みも新しい
 かと思えます。市民が野党共闘を
 るということを示せたのではない
 を大事に思う人たちがこれだけ
 者の拡大はこの国の中に立憲主義
 が、立憲民主党の立ち上げ、支持
 きたごたごたには目も回るようでした
 選挙が終わりました。選挙前の

正念場「憲法を変えるな！」の戦いを！

今月の予定

11月9日(木) 17:00~18:00

9の日行動 シール投票「自衛隊をどう
 たらいいと思いますか」

川間駅北口広場 野田・九条の会

11月10日(金) 14:00~15:30

ちょっと硬派なおしゃべりカフェ
 政治や憲法のこと自由におしゃべりし
 ませんか

北コミ談話室 野田・九条の会

11月11日(土) 13:30~16:30

野田・九条の会例会 衆議院選挙結果を
 受けて今後の活動について討論

櫛のホール集会室 野田・九条の会

11月12日(日) 13:30~17:00

DVD 上映とディスカッション「731部隊
 の真実」「戦慄の記録インパール作戦」

南部梅郷公民館 南地域九条の会

11月19日(日) 14:00~17:00

9条変えるな！安倍政権退陣！11.19

総がかり行動参加
 一緒に行きませんか愛宕駅 12:07
 柏行き先頭車両乗車

国会第2 議員会館 総掛かり行動実行
 前 委員会

11月25日(土) 13:30~16:30

シリーズ「変えてもいいの？憲法」
 ① 講演と懇談「自衛隊の現状を知ろう」
 市民のための安全・安心を考える会
 永田研二さん

中央公民館講座室 けやき九条の会

12月1日(金) 13:30~16:30

シリーズ「変えてもいいの？憲法」②映
 画「日本国憲法」を見て懇談

北コミ集会室①② 川間九条の会



東京新聞編集委員

講師：半田 滋

や隣人に話ができる力をつけま
 緒に勉強し語り合うことで、家族
 企画しています。多くの市民と一
 いいの？憲法」と題し連続講座を
 の九条の会でシリーズ「変えても
 市内の川間、けやき、南地域の3つ
 会を予定しています。そして野田
 に明記したらどうなるのか」講演
 をお招きし「自衛隊の現状と憲法

シリーズ「変えてもいいの？憲法」

① 11月25日(土)13:30~16:30 中央公民館講座室

けやき九条の会主催 講演「自衛隊の現状を知ろう」

講師：永田研二さん(市民のための安全・安心を考える会)

松戸で長く市民活動を行っている。自衛隊の装備、予算など市
 民目線で自衛隊の今をお話しいただき、みんなで話し合いま
 す。参加費無料

② 12月1日(金)13:30~16:30 北コミュニティ会館 集会室

川間九条の会主催「映画日本国憲法」上映

参加費 500円

③ 1月 南地域で予定

④ 2月11日(日・祝)13:30~16:00 場所未定

講演会 半田滋さん

1955年(昭和30)年生まれ。東京新聞論説兼編集委員。獨協大
 学非常勤講師。法政大学兼任講師。92年より防衛庁取材を担当
 している。2007年、東京新聞・中日新聞連載の「新防人考」で第
 13回平和・協同ジャーナリスト基金賞(大賞)を受賞。

衆議院選挙の与野党別議席数は公示前とほとんど変わらない結果となりました。やはり森友、加計学園問題の追求を避けることを狙ったものでした。ここに至る経緯を無駄にはできません。次につなぐために何が得られたかです。希望の党による民進党の分裂があり、特に立憲民主党の立ち上げは大きな共感を呼び全国に波紋が広がりました。これらをマスコミは「自公」、「希望・維新」、「立憲・社民・共産」の3極だと盛んに報じました。しかしこの選挙の争点は2極として、改憲の可否で争うべきでした。

選挙後は既に2極に向け動いています。3極騒動で得られたことといえば憲法、集団的自衛権へのスタンスがハッキリし、次の参議選で迷うことなく可能となったことです。希望・維新と無所属は2極の

どちらかに移ることになるでしょう。

自民党が改憲を表に出して来ました。選挙演説では避けましたが騙されたと言われたいよう足跡はしっかり付けています。この戦略で有権者は危機感をなくし、半数は無関心、無視で棄権しました。

国会はこの一年の内に改憲発議をし、国民の審判を求めて来ます。自衛隊を憲法に明文化したらどうなるか、また緊急事態条項の中身を変えず、優しく言い換えた緊急事態対応を国民はどう判断するか。歴代内閣は自衛隊は合憲とし、集団的自衛権は違憲であるとしたのを多くの国民は支持し認めて来ました。これを安倍政権は覆すのです。自公の支持者には景気とか安定な政権とは別次元の憲法判断をしていただかなければなりません。また無関心と無視で棄権した人も同様に問われます。改憲案は白か黒2極の国民審判となります。

平穏な暮らしの基となっている憲法が損なわれようとしている事をどう説明できるかシッカリ考えましょう。国民投票は自分の将来を自分が納得し決めなければなりません。明確に言えることは安倍政権による改憲は戦争する国家を作ることであり国民を確実に苦しめます。未来のために2極のどちらを選ぶかです。



憤死寸前也

苦しい時でも哲学をもって歩むべき道を説く—これが9条の会にふさわしいエッセイなのだろう。が、自公がまたしても3分の2を制するという現実の前で、僕はそのような教科書的正論を吐く気がしない。ここでは偽りのない気持を述べようと思う。

日本人の精神はもはや根腐れしている。モリカケ疑惑はかつてのロッキードやリクルート事件に匹敵するものだろう。昔の有権者は巨大疑惑に対し、選挙で自民に鉄槌を下した。しかし今回はこのザマだ。もちろんこの違いの原因には小選挙区という稀代の悪制度の影響もあるだろう。しかし

その制度の中で自民に48%の票を与えたのは現在の有権者である。

折しも経済の世界では、東芝、タカタ、日産、神戸製鋼と名だたる大企業によるデータ偽装や粉飾決算などが発覚した。日本の企業社会も根腐れしている。

さらに深刻なのは、世論調査によると自民支持者が最も多いのは30代以下の若い層であるという。批判精神のない若者はもはや若者とは呼べない。肉体が若いだけの老いぼれ青二才に過ぎない。あと30年経つと、この老いぼれ若造が日本社会の大多数になるわけだ。その時、日本がアジアのお荷物になっているのは間違いない。